



B棟ではテーブルとかまどが借りられる

キャンプ棟(A・B棟)はテント泊か日帰りで利用でき、B棟ではテーブルとかまどがセット。A棟はかまどがありませんが、脚付きコンロを持ち込めばバーベキューができ(直火は禁止)、A棟の前でテントが張れます。キャンプ棟を利用するには事前に予約が必要です。



キャンプ棟(B棟)の両隣にはテントを張るスペースがある



ログハウス利用時は、隣の野外炊事場も使用できる



キャンプ棟(A棟)の前にはテントが張れる

ログハウスにはベッドが12人分あり、1棟の利用料と人数分の室内専用寝具(シーツ)料金が必要です。追加で掛け布団も借りられます(有料)。

※新しい生活様式では定員の50%の密度が推奨されています。



広々とした室内



シャワーも完備



ベッドは12人分。空調あり(有料)



キッチン、冷蔵庫あり

◆宿泊利用の料金

キャンプ場(A・B棟)	時間	チェックイン	13時~16時	
		チェックアウト	12時まで	
料金(幼児無料)			市内利用者	市外利用者
			高校生以上	1泊600円 1泊1,200円
			小・中学生	1泊300円 1泊600円
ログハウス	時間	チェックイン	13時~16時	
		チェックアウト	10時まで	
	料金(1棟)		市内利用者	市外利用者
8,000円 + 寝具代			12,000円 + 寝具代	
追加	宿泊時間外での利用時	日帰り利用料と同じ		

※ログハウス宿泊の際には、利用料金と人数分の寝具料金がかかります。※ベッドの持ち込みは禁止です。

◆有料備品

テント5人用(基本テント・ドームテント)	1泊:1張	600円
薪	1束	600円
室内専用寝具(シーツカバー付き毛布上下・枕)	1組	600円
室内専用布団一式(和式用布団セット:2泊3日まで)	1組	2,800円

※和式用布団セットは1泊延長毎200円追加

◆日帰り利用の料金

キャンプ場(A・B棟)	時間	9時~16時	
		市内利用者	市外利用者
		料金(幼児無料)	高校生以上 300円
	小・中学生	150円	300円
ログハウス	時間	11時~16時	
		市内利用者	市外利用者
料金		4,000円	6,000円

外で遊ぼう!

青葉山ろく公園はアスレチックにバーベキューやキャンプも!



※写真は過去のもので、距離に応じてマスク着用などをお願いします

新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たない中「新しい生活様式」が提唱された初めての夏。遊びは屋内より屋外の方が良いと言われていました。広々とした野外で過ごすことは新しい生活様式にもぴったりのレジャーです。青葉山ろく公園の芝生広場やアスレチックは連日家族連れでにぎわっています。また、パターゴルフ場やスケートボードのできる二コーススポーツ広場もあり、子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しむことができます。ほかに、かまど・炊事場も使えるキャンプ棟や木のぬくもりあふれる広々としたログハウスといった施設もあるほか、テントの貸し出しも行っていて、日帰り・宿泊問わずキャンプが楽しめます。

近年、SNS映えるグランピングや、キャンプを題材とした漫画、芸人やYouTuberによるキャンプ動画などの影響でキャンプブームが再燃し、若い層にも人気広がっています。

この夏、青葉山ろく公園でキャンプデビューしてみませんか?



パターゴルフ場や子どもに人気のアスレチックも

◆キャンプ場の利用情報

【開設期間】11月30日(月)まで

◆宿泊利用(キャンプ場、ログハウス)

利用日の3か月前~1週間前に電話か窓口で申し込み。

◆日帰り利用(キャンプ場、ログハウス)

利用日の6日前から電話か窓口で申し込み。

【受け付け時間】9時~17時

【問い合わせ先】青葉山ろく公園 ☎64・5454